

ブダペスト通信

盛田 常夫



2023年 NO. 20

7月15日

ウクライナはプーチンに勝てない

ーハンガリー・オルバン首相

BILD紙・独占インタビュー (BILD27.06.2023)



Quelle: BILD27.06.2023 PAUL RONZHEIMER UND DANIEL BISKUP (FOTOS)

2023年7月15日

Bild: 世界はプリゴジンがワグネル軍をモスクワに向けて進軍させました。貴方はこの時に、どのように事態をご覧になっていましたか。

オルバン：この事件はさほど重要視していません。

Bild: それほど意味を持たないと？

Orbán: そうです。

Bild: ロシアの内部情報をお持ちだったのでしょうか。何か情報のコンタクトがあったのでしょうか。

Orbán: いえ、我々は諜報機関をもっており、それを信頼しています。

Bild: どのような情報を得たのでしょうか。

Orbán: 彼らは重要でないと言っていました。

Bild: 貴方の視点から、プーチンはどれほど弱体化したと思われますか。

Orbán: このような事態が生じたことは弱さの現れだと言えますが、24時間以内に解決されたのですから、これは強さの現れだと考えます。

Bild: プーチンは十分に強いと？

Orbán: プーチンはロシアの大統領です。もし彼が失脚すると考える人は、ロシア人とロシアの権力構造を知らない人です。

Bild: そこをもっとご説明ください。誰もワグネル軍の進軍を止めることができなかった。軍隊も諜報機関も。すでにロストフまで達していました。明らかにプーチンは、一定の時間、制御を失っていたと思いますが。

Orbán: コントロールできていたと思います。

Bild: それはどうしてですか。

Orbán: これはロシアだからです。ロシアはヨーロッパの国とは違う仕方で機能しています。

Bild: 現在の状況をどのように評価しますか。

Orbán: これはすでに終わった事件で、戦争は続いています。この事件は和平をもたらすものではありません。私は常に和平実現の視点から見えています。最も重要なことは停戦と和平が実現されるかどうかです。この事件はそれらに全く影響しませんでした。

Bild: ロシアの政治構造は安定しているということですが、2024年にプーチンが大統領に再選されると考えますか。

Orbán: もちろん、それが現実です。

Bild: それはどのような根拠からでしょう。多くの人がロシア政府の弱体化を話していますが。

Orbán: 戦争状態にあるのだから、そういう意見はプロパガンダに過ぎません。

Bild: プロパガンダとおっしゃいますが、プーチンはプリゴジンを罰すると言いながら、ベラルーシへの出国を認めました。これはどのように説明できるのでしょうか。

Orbán: これはロシアなのです。ロシアは我々とはまったく別様に機能しています。ロシアの政治構造は安定しています。軍隊、秘密警察、警察がベースになっている国です。武力をベースにした国なのです。

Bild: ドイツやハンガリーと違う別の世界ということですね。そうすると、我々のロジックで彼らの世界を理解しようとするのは間違いだということですね。

Orbán: 私はロシアのことにそれほど関心がありません。私にとって、ハンガリーが一番大切です。

Bild: プーチンを失脚させるものがあるとすれば、何でしょうか。

Orbán: それは分かりませんし、誰にも分らないでしょう。彼は安定したロシアの大統領であり、人気もあり、背後の権力構造も非常に強力です。ロシア全体の複雑性をもっと理解する必要があります。

Bild: 貴方は1989年にハンガリーからソ連軍の撤退を要求する勇敢なスピーチを行いました。それから数十年を経て、なにゆえにハンガリーをロシア側に立たせ、プーチンを友人としているのでしょうか。

Orbán: この質問で私を挑発しようとしているのでしょうか。ハンガリー人がロシアの友人である言うのは、我々の歴史的経験とは矛盾します。私はハンガリーのために戦っているのです。プーチンやロシアがどのようなようになるかは私の関心事ではありません。ハンガリー人にとって良いと考える立場や行動を取っているのです。ロシアとウクライナで生じているすべてのことはハンガリー人にとって良いことではありません。ハンガリー人にとっては危険なことでもあります。少数民族としてハンガリー人が生活していますし、彼らの命も失われています。ロシアやウクライナと隣接しているから危機が存在します。戦争の狭間にあるハンガリーやポーランドはドイツと違います。

Bild: 貴方は戦場での解決はないと考えられていますが、ウクライナはキーウを防衛でき、ロシアはキーウを占領できませんでした。同じことが、ドンバス地域にも起こり、領土を取り返すことができるとは考えられませんか。そのような可能性はないと感ぜられるのでしょうか。

Orbán: まず申し上げたいことは、私はウクライナに敵対して意見を述べているのではありません。私がウクライナに存続の希望がないと捉えているとみられるのは本意ではありません。私はあくまで現実を直視しているのです。ウクライナと西欧との協力関係は失敗だという現実を言っているのです。ウクライナの兵士はロシアの兵士より先に枯渇します。

Bild: それはどうして。

Orbán: ウクライナ人が戦場で戦い、西側諸国が財政・情報・軍備で支援してロシアに勝つことは不可能です。

Bild: 不可能な理由は何でしょう。ウクライナは一定の領土を奪回し、それを守っています。

Orbán: 私が話しているのは戦争の特定の出来事ではありません。私が言っているのは、戦争の結末であり、ウクライナがロシアより先に兵士の枯渇に直面するので、それが最後に戦争を決する決定因子になるということです。私はその点を議論しているのです。

私はウクライナの人々に影響を及ぼそうとは考えていません。常に平和、平和を考えています。そうしなければ、巨額の富と多数の人命を失うという想像もできないほどの悲劇に見舞われます。だから、和平が現時点で唯一の解決策なのです。今の時点での和平とは停戦です。この視点から、停戦を如何に早く実現するかを提起しているのです。

Bild: ウクライナもまた早期の解決を議論しています。2週間前にゼレンスキー大統領にインタビューしたときに、彼はすべての領土の奪回を条件としていました。

Orbán: その議論は承知しています。実際問題として、アメリカがどう考えているかです。ウクライナはすでに主権国家ではありません。彼らにはもう資金がありません。武器もありません。西欧諸国が武器を提供してくれるか戦えるのです。もしアメリカが和平を望めば、平和になるのです。

Bild: そうすると、NATOが貴方のアドバイスを侵攻直後に受け入れていけば、ウクライナは完全にロシアの領土になっていたのではないのでしょうか。

Orbán: それは確証のない仮説に過ぎません。

Bild: 貴方は西側の武器支援なしに自らを防衛できないとおっしゃいましたよね。

Orbán: 私は初めから和平派です。最初に交渉しておけば、これほどまでの犠牲や破壊が起こらなかった。私の立場は、最初から、この戦争をグローバルなものにしてはならない、局地化させて、軍事から外交へと転換させなければならないということです。この戦争は起きてはならないものでしたから。

Bild: 戦争前に、ショルツ首相やマクロン大統領がプーチンに対して攻撃を止めるように説得しました。開戦前に多くの外交的努力がなされたと思います。

Orbán: しかし、外交が失敗し、軍事が支配した。だから、停戦して、外交交渉に戻す必要がある。これだけが、現時点で人命を救う唯一の方法です。

Bild: プーチン大統領と最後に話されたのはいつでしょうか。

Orbán: 開戦前の2月です。2~3週間前です。

Bild: 彼は貴方に何を話したのでしょうか

Orbán: ウクライナに関する問題は多数ありました。彼はウクライナの軍隊は非常に強く、西側の装備で固められている、と。兵士もよく訓練されている。だから、この対立関係は非常に難しい、と。私の印象では、これらの問題があるにせよ、「時はロシアに味方している」と考えているようでした。これは私の印象で、すでに公にしていることです。それはロシア人の考えで、彼らは「時が味方している」と考えましたが、それはわれわれにとって好ましいことではありません。しかし、不幸にも、それが現実になってしまいました。

Bild: すべてはアメリカの手に委ねられていると？アメリカが武器を供給し続ける限り、戦争は終わらない、ウクライナが武器を持たなければ、彼らは自らを防衛することはできないとおっしゃいましたが、それはウクライナが抵抗を止めて、運命に従うべきだということですか。

Orbán: いいえ、正反対です。我々はウクライナを救いたい。ただ、唯一の解決策は、アメリカがロシアとの交渉を開始し、ウクライナの安全保障の枠組みを見つけ合意することです。

Bild: しかし、ウクライナは明確にそのような交渉はしないと決断しています。

Orbán: それは間違っていない。国家として自らの将来を決める権利がありますから。我々は武器や資金を与えるか否かを決めることができます。それがアメリカの意思なら。我々はウクライナを含めて、誰にも資金や武器を与えたくないということです。我々は交渉によって、停戦と和平を望むだけです。すべてはアメリカの手中にあります。

Bild: 貴方の助言に従えば、プーチンがこの戦争の勝者になります。そうすると、彼はさらに勢力を伸ばそうと考えません。ポーランド、エストニア、リトアニアを攻撃しませんか。ウクライナで止まる根拠は何でしょう。

Orbán: それは彼らがそこまで強力ではないからです。この戦争が明らかにしたように、NATOはロシアよりはるかに強力です。弱いロシアがNATOを攻撃すると誰が考えるでしょう。

Bild: しかし、プーチンはロシア帝国の再興を考えていますよね。

Orbán: とはいえ、われわれは軍事力で彼らがどれほど強いのか、どれほど弱いのかを知ることになりました。NATOと比較すると、ロシアは明らかにNATOより劣っており、NATOが強いことがはっきりしました。

Bild: 国際刑事裁判所は戦争犯罪の容疑で、プーチンの逮捕状を発出しました。ドイツではプーチンが領内に足を踏み入れれば、即座に逮捕されます。ハンガリーでもそうですか。

Orbán: 私は彼がハンガリーに訪問したいという情報を持っていません。ですから、この仮説には現実性はありません。単なる仮説です。

Bild: 貴方からすると、プーチンは戦争犯罪者ですか。

Orbán: いいえ、わたしにとってはそうではありません。

Bild: どうしてですか。

Orbán: それは今、戦争状態にあるからです。戦争犯罪は戦争が終わってから議論することができます。停戦交渉が始まれば、彼らを説得して、この問題をテーブルに出すことができます。「テーブルに着きなさい。あなたを逮捕します」というのは、適切ではありません。和平の交渉の一環として、この問題を議論することができます。現段階ではまったく適切ではありません。

Bild: 個人的にも、同僚の記者のレポートからも、プーチンの軍隊が戦争犯罪を犯した事実を確認しています。彼が戦争犯罪者であることは明白なことではありませんか。

Orbán: とはいえ、我々は和平を望んでいるし、交渉が必要です。国のリーダー以外に、誰が交渉の場に着くことができますか。

Bild: 貴方はどのような環境のもとで、ウクライナの NATO 加盟を認めることができますか。

Orbán: 私にとって、これは NATO 加盟問題ではありません。

Bild: それを阻止するということですか。

Orbán: そういうことを言っているわけではありません。NATO はその条約で、戦争状態にある国は加盟することができないとあります。

Bild: それでは、戦後にウクライナが NATO に加盟することはどうですか。

Orbán: これは議論するしかありません。

Bild: 家族をロシア人によって殺されたウクライナの人々が自己防衛に当たっているときに、貴方は「あなた方は兵士が少ないのだから、自己防衛することはできませんよ」と言えますか。貴方の議論に沿えば、こういうことになりませんか。

Orbán: いいえ、そのような議論をしていません。まったく違うことを言っているのです。私は誰も説得しようとは思いません。それは私の仕事ではありません。これは我々の戦争ではなくウクライナ人の戦争であり、彼らが自らの運命を決めるのです。私はただ、彼らにとって最善のことを実行するようにアドバイスするだけです。

何が最良かは彼らが決めることです。他の誰もが彼らに代わって決めることはできません。誇り高い独立国なのですから。